

ユーザーは御社のサービス (ITシステム) に 満足していますか？

画面が**5秒以内**に
表示されなければ
別のサイトへ**移動してしまう***1

74%

原因は…

アプリケーションのパフォーマンス低下

アプリを**一度使っただけ**で
アンインストールした
経験がある*1

86%

企業で**半年に一回以上**は
運用ミスに由来した
障害やトラブルが発生する*2

69%

原因は…

複雑なシステム環境

*1 ロンドン大学 ゴールドスミス・カレッジ: App Attention Span (アプリへの関心持続についての調査、2014年6月実施) *2 IDC Japan: 企業における情報システムの運用管理の実態に関する調査結果 (2016年8月実施)

数秒のレスポンス遅延や障害の発生が、莫大な損失と信頼の失墜に直結

AppDynamicsは…

- ▶ 複雑化したシステムのパフォーマンスを見える化し、一元管理。
- ▶ アプリケーション品質の向上と運用コスト削減を両立します。

世界100カ国以上
2,000社を超える
企業が導入する

AppDynamicsを選ぶ理由

障害発生に繋がる 予兆を検知

システムごとの監視では検出できない、利用者が感じるシステムのスローダウンを検知します

障害からの復旧時間を 大幅に短縮

障害発生時の原因特定にかかる時間を短縮し、復旧までに要する工数を平均75%削減できます

*AppDynamics社実績



売上などのビジネス指標を リアルタイムで把握

エージェントがトランザクションからデータを収集し、ダッシュボードに可視化。ビジネスとシステムの稼働状況をリアルタイムで監視できます

仮想環境のシステム構成 (コスト) を 最適化

常に性能を監視し、仮想環境のリソースを状況に合わせて自動でスケールイン・アウトすることで、不要なIT投資を抑制できます

■ ビジネス・サービス・システムの全体を、統一プラットフォームでリアルタイムに監視

 <p>マップiQ 状態の監視基盤</p>	<p>エージェントを監視対象のアプリケーション稼働環境にインストールするだけで、</p> <p>▶ 監視対象のシステム全体の相関図を自動作成</p>
 <p>ペースラインiQ 異常を検知</p>	<p>平常時のパフォーマンスを学習し、しきい値を自動設定することで、</p> <p>▶ 平常時のパフォーマンスからの乖離を検知</p>
 <p>ダイアグノスティックiQ 原因を発見して対処</p>	<p>スローダウン時に実行された処理（プログラムコード）のスナップショットを自動取得し、</p> <p>▶ 問題の事象を再現させることなく原因究明が可能</p>
 <p>ビジネスiQ ビジネス影響を把握</p>	<p>トランザクション内のビジネス関連データを取得し、</p> <p>▶ 売上などのビジネス指標とサービス性能の関連性をリアルタイムで把握</p>

－ AppDynamics 監視画面サンプル －



■ AppDynamicsとJP1/IMとを連携することで、JP1/IM上でメッセージを一元管理*。メッセージからAppDynamicsの参照が可能となります。 * [イベント通知連携ツール for AppDynamics +JP1/IM]が必要となります。

「AppDynamicsトライアルライセンス」を1ヶ月間無償で提供しています。

※AppDynamicsは、AppDynamics, Incの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/appdynamics/